

快適な住まいを長持ちさせるために【カビ・ダニ】

カビ対策

カビは、適度な湿度・栄養のあるところにはどこでも繁殖し、温度25～30℃、湿度60%以上になると急激に発生しやすくなります。また、建材や仕上げに使われる接着剤やのりを栄養分として、結露によるシミや湿気のある場所に発生します。そのため、まず結露を防ぐこと、通風をよくすることが重要です。

カビを取り除くには…

カビが発生したらすぐに取り除くことが重要ですが、あまりひどくなったカビは専門業者に頼んでみましょう。特に、ビニールクロスの場合は、裏側に発生してしまうと張り替えるしかありません。また、表面のカビを取る場合は、中性洗剤などをうすめ、固くしぼった雑巾で拭き、ドライヤーで乾燥させるとよいでしょう。

ダニ対策

ダニは、高温多湿を好むため、一般的に夏に繁殖・活動するといわれています。カーペットや畳、カーテン、衣類など不潔にしているとダニ発生の原因になり、さまざまなアレルギー症状を引き起こします。予防法は、何よりも掃除を頻に行い、多湿にならないように換気をすることです。

ダニの繁殖する条件

- ① 温度25～30℃
- ② 湿度60～85%
- ③ エサとなるホコリ、フケ
- ④ 潜り込む場所があること

ダニの予防法

- ・掃除機でホコリをこまめにかつ入念に吸い取りましょう（1㎡あたり1分が目安）。掃除機の使用は、ダニの捕獲と同時に畳の乾燥にも役立ちます。
- ・畳の上には敷物（絨毯、カーペット等）は敷かないようにしましょう。敷物は、畳の通気性を悪くし、ダニが繁殖しやすくなります。
- ・室内の換気・通風に注意しましょう。ダニの発生する梅雨時の少し前から布団乾燥機や除湿機を使用すると、ダニが発生しにくくなります。

△ 注意

畳表が天然のイグサを使っている場合、新しい物は特にダニが発生しやすいので、こまめに掃除と換気を行ってください。